

# 地域研修カリキュラム

※講師等との調整により、カリキュラムに若干の変更の可能性があります。

オンデマンド講義  
視聴時間約  
3時間

※受講必須のみの場合

リアルタイム研修

概 要		単 元 名 / 講 師		●：受講必須 ◇：受講任意		分
災害対応業務全般						
防災行政の概要	1	防災行政概要	内閣府	●	20分	
防災に関する法	2	災害法体系と災害対策基本法の概要	内閣府	●	15分	
防災計画	3	防災計画の概要	内閣府	●	15分	
災害概要	4	地域の災害特性	奈良地方気象台	◇	60分	
災害対策本部が行う対策立案プロセス						
対策立案プロセスの 基本	5-1	災害対策本部の活動サイクル	京都大学 林 春男	●	15分	
	5-2	当面の対応計画の策定		●	10分	
	5-3	当面の対応計画策定のための災害対策本部での情報処理		●	15分	
	5-4	災害対策本部会議の進め方		●	15分	
指揮統制総論						
指揮統制	6-1	災害発生後に基礎自治体が行うべき業務の全体像を把握できる	京都大学 林 春男	◇	5分	
	6-2	世界標準に即した災害対応業務が5つの役割で構成されていることを理解できる		◇	10分	
	6-3	市町村が中心になって活躍する災害対応業務6+1を理解できる		●	10分	
	6-4	平時の業務を世界標準に即して災害対応業務に変換することができる(ICS準拠)		◇	5分	
指揮統制の現状						
【事例】指揮統制	7-1	「令和2年7月豪雨」について熊本県人吉市松岡市長へのインタビュー	熊本県人吉市	●	20分	
	7-2	インタビューの解説	京都大学 林 春男	●	10分	
参謀にとっての災害対策本部運営						
災害対策本部運営の 基本	8-1	災害対策本部を指揮するとは	岩手県	◇	15分	
	8-2	トップと参謀の役割		◇	15分	
	8-3	トップの意思決定・指揮を補佐する参謀機能の強化		◇	15分	
	8-4	情報処理と状況判断		◇	15分	
風水害						
風水害の概要	9-1	風水害のメカニズム	静岡大学 牛山 素行	●	18分	
	9-2	洪水災害の概要		◇	17分	
	9-3	土砂災害の概要		◇	13分	
地域の脆弱性と被害の実態						
風水害対応	10	風水害の防災対策	静岡大学 牛山 素行	●	18分	
警報避難						
【実務担当】 警報避難	11-1	【実務担当】土砂災害における警報と避難	全国治水砂防協会	◇	67分	
	11-2	【実務担当】風水害における警報と避難	国土交通省	◇	60分	

時間	単元	講師	分	単元の概要
10:00 ~10:10	- (オリエンテーション)	(事務局)	10分	
10:10 ~12:00	1【エスノグラフィー演習】 災害対応過程と態度を学ぶ	事務局講師	110分	「平成29年九州北部豪雨時の大分県・日田市の災害対応の実態」のエスノグラフィーを題材に、県、市それぞれの立場からの災害対策本部設置前後の動きを学ぶ。
12:00 ~13:00	- (昼休み)		60分	
13:00 ~15:50	2【演習】災害対策本部における 初動対応演習	内閣府 派遣講師	170分	市町村の本部要員、県の派遣職員それぞれにおける能力向上を図り、市町村の災害対策本部機能を強化することを目的とした訓練を行う。 状況付与に応じて被害状況を推測、それをもとに課題を整理し、災害対策本部で必要な意思決定について学ぶ。
15:50 ~16:00	- (休憩)		10分	
16:00 ~16:50	3【演習】全体討論(ふりかえり)	事務局	50分	研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを学ぶ。
16:50 ~17:00	- (閉講)	(事務局)	10分	

コーディネーター  
【プロフィール】

立命館大学政策科学部 教授  
井ノ口 宗成 氏

新潟大学災害・復興科学研究所助教、静岡大学情報学部講師、富山大学都市デザイン学部准教授を経て、2025年4月より現職。専門は、行動防災学、災害情報学、復興情報学。自治体の地域防災計画、職員防災マニュアル等の作成にたずさわると共に被災地における自治体支援活動を実施。また、効果的な被災者生活再建支援の実現に向けた「被災者台帳システム」の開発実装、災害時の行動分析を可能とするツール「WBSマネジャー」の開発実装を推進。令和6年能登半島地震では富山県氷見市を中心に被災者の生活再建にかかる支援を実施。